

教育委員会会議 自由討議

「高等学校・専門学校改革について」



9月教育委員会会議自由討議



総合ビジネス専門学校

高等学校・専門学校改革基本計画を踏まえた取組状況

○新しい教育課程

Ⅰ 学科名を「キャリア創造学科」に変更

	令和4年度入学生まで	令和5年度入学生から
学科	総合ビジネス科(定員70名)	キャリア創造学科(定員70名)
コース	情報ビジネス、経理ビジネス、観光サービス	コース制廃止

- (1) 起業家教育科目を共通履修とし、学生 **全員が起業家精神** をもつことを目指している
- (2) これまでの情報、経理、観光といった縦型のコース制を廃止し、**科目横断型のカリキュラム**を編成した
- (3) 学生が自分の興味関心、将来の職業、取得したい資格などに基づいて、**主体的に科目を選択**できる
- (4) 学生が自らキャリアを創造していくことができるカリキュラムを編成した

○開講科目 常勤教員13名と非常勤講師28名(起業家などの実務家教員と大学教員兼任)が授業を担当

共通科目	<u>アントレプレナーシップ入門、ビジネスプランニングⅠⅡ、商業簿記、情報リテラシー</u> キャリアデザインⅠⅡ、オフィス基礎、サービス接遇、インターンシップ、卒業研究
選択科目	起業演習ⅠⅡ、ビジネスモデル分析 会計ビジネスゲーム、簿記演習ⅠⅡ、税務会計ⅠⅡ、工業簿記ⅠⅡ、建設業簿記、法務税務財務入門、医療事務 ビジネス実務ⅠⅡ、プレゼンテーション演習 マーケティング、マーチャンダイジング、SNS活用ⅠⅡ プログラミングⅠⅡ、アプリ開発、IT活用ⅠⅡ ITパスポートⅠⅡ、オフィス応用ⅠⅡ 画像編集ⅠⅡ、音声編集、動画制作演習ⅠⅡ、ドローン活用ⅠⅡ eコマース、ウェブデザイン基礎・応用 ホテル総論ⅠⅡ、日本の歴史と文化、熊本観光・産業 観光英語ⅠⅡ、中国語ⅠⅡ、韓国語ⅠⅡ 論文指導ⅠⅡ、英語ⅠⅡ

高等学校・専門学校改革基本計画を踏まえた取組状況

○特色のある授業の例

Ⅰ「アントレプレナーシップ入門」(共通科目)

(1) 時間数：週1時間

(2) 担当者：非常勤講師(崇城大学 川副 智行 教授)

・全学生が履修し、起業家精神を身につけ、起業への動機づけ



川副智行先生
(崇城大学起業部顧問)

2「起業演習Ⅰ」(選択科目)

(1) 時間数：週4時間

(2) 担当者

起業家の外部講師と常勤教員

コーディネーター：起業・新産業支援課 青山氏

(3) 前期に招聘した外部講師

- ・株式会社フロンティアビジョン 渡邊氏
- ・トイメディカル株式会社 竹下氏
- ・株式会社ハッピーブレイン 池田氏
- ・株式会社オーケープランニング 波多江氏
- ・Socialups株式会社 上城氏
- ・株式会社コマンドディー 稲田氏
- ・株式会社サステイナブルジャパン 東濱氏
- ・AIM株式会社 大山氏
- ・セトログ 瀬戸口氏

(4) 授業内容

- ①起業したきっかけや動機、②起業までの道のり、③現状や課題等
講義(2時間)、レポート作成・ディスカッション・発表(2時間)で実施

「起業演習Ⅰ」授業の様子



高等学校・専門学校改革基本計画を踏まえた取組状況

○特色のある授業の例

3 「ドローン活用Ⅰ・Ⅱ」(選択科目)

- (1) 時間数: 週2時間
- (2) 担当者: 常勤職員各2人
- (3) 使用機器
ドローン実機: 中型1台、小型1台、トイドローン20台)
シュミレーター: 4台(PC1教室のPCにインストール)
- (4) 資格取得: ドローン検定協会主催 ドローン検定2,3級
- (5) その他: 熊本県ドローン技術振興協会と連携



4 「会計ビジネスゲーム」(選択科目) 来年度2年生から開講

- (1) 時間数: 週2時間
- (2) 担当者: 非常勤講師(株式会社Mキャス)
- (3) 内容: ボードゲーム上で会社を経営しながら、会計に関する実践的な知識や技術を身につける



新しい教育内容に対応する施設・設備の充実

○施設設備の充実

Ⅰ 施設設備

令和4年度、教育改革推進課予算（予算額：6,400千円）にて、2階東側教室の机・イスの入替を実施。机80台、椅子40脚、学生用ロッカーを購入。設置にあたり、物品の発注から業者選定、契約、納品、支払いを教育改革推進課と連携して実施。

令和5年度についても、教育改革推進課予算（予算額：6,400千円）にて、2階西側教室の机・イスを揃える予定で、現在教育改革推進課と連携して発注に向けて準備中。

また、指導課・教育センターと連携し、パソコンを増台。パソコン教室を3教室にし、それぞれの教室にパソコンを整備。

○パソコンⅠ教室（PC1）・・・ Windowsデスクトップ：40台

○パソコンⅡ教室（PC2）・・・ Windowsノート型　：40台

○パソコンⅢ教室（PC3）・・・ i Mac　　　　　：40台



(PC1)



(PC3)



(PC2)

新しい教育内容に対応する施設・設備の活用

○コンピュータ実習教室の全3教室（PC1、PC2、PC3）をリニューアル



PC3実習室：市立学校で初めてiMacをコンピュータ実習室に導入

PC3実習室を利用する授業

- ・音声編集
- ・動画制作演習
- ・ドローン活用
- ・SNS活用
- ・ウェブデザイン基礎等

○中央ホールのリニューアル



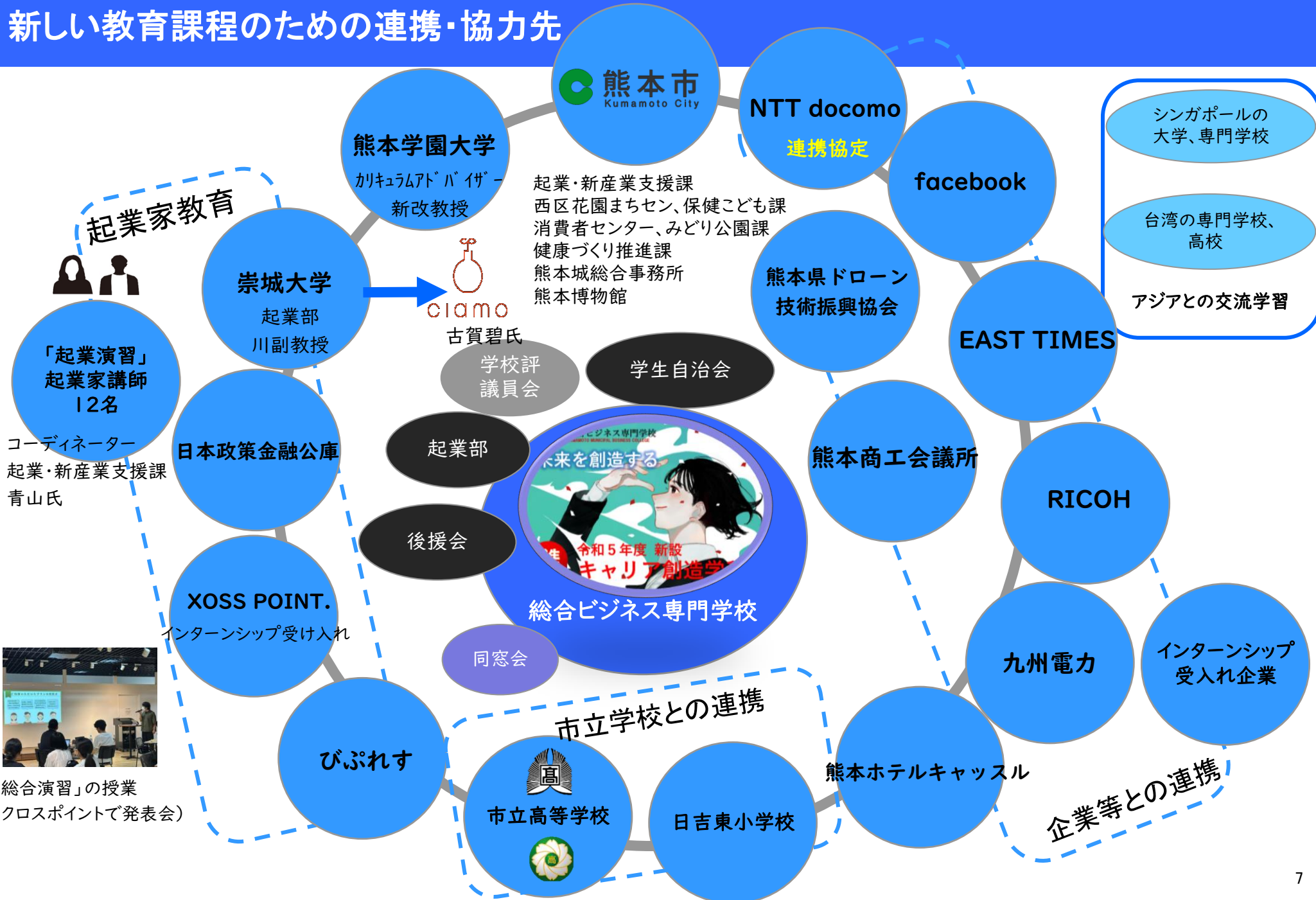
中央ホールを利用する授業

- ・起業演習Ⅰ・Ⅱ
- ・キャリアデザインなど

中央ホールの授業以外の利用例

- ・職員研修
- ・学生との面談
- ・オープンキャンパス
- ・高校教員対象説明会
- ・非常勤講師の待機場所など

新しい教育課程のための連携・協力先



学生募集のための広報活動

○広報活動

1 学校案内パンフレット

学校案内、募集要項を熊本県内各高校(86校)に郵送

2 オープンキャンパス開催の告知

フライヤー、ポスターを作成。熊本、長崎、鹿児島、福岡(計318校)の高校に郵送

3 SNSの活用



4 熊本駅のデジタルサイネージの設置

5 JR上熊本駅着への電車内アナウンス

6 オープンキャンパス(学生自治会の企画・運営によるトークセッションと模擬授業を実施)



開催日	トークセッションのテーマ	模擬授業の内容
6/17(土)	「“キャリア”は自分で作るもの! 自分のやりたいこと・できることを磨こう」	ドローン・ホテル総論
7/ 1(土)	「“起業”するって大変なこと? 自ら動くことから始めよう!」	ドローン・音声編集
7/15(土)	「自分たちで動き・自分たちでやるから面白い! 学生自治会の活動紹介」	プレゼンテーション・簿記
7/29(土)	「資格で差をつける! 社会に出て即戦力になるための第一歩」	ドローン・簿記
9/ 1(土)	「実践的に学ぶなら”専門学校”「求められる人材」になれるチャンスをつかもう!」	音声編集・プレゼンテーション

オープンキャンパス 参加者 集計				
日程	学生・社会人 申し込み	学生・社会人 参加者	付き添い	参加者 (学生社会人 + 付き添い)
6/17(土)	7	6	3	9
7/1(土)	9	8	4	12
7/15(土)	16	16	10	26
7/29(土)	33	27	18	45
9/2(土)	36	29	20	49
合計	101	86	55	141

学生募集のための広報活動

- 7 高校教員対象令和6年度学生募集説明会
7月7日(金) 14:00-15:30 県内の高校16校が参加
- 8 学生募集活動(延べ数)
 - (1)担当者:校長
 - (2)訪問先:県内全域の高校等
 - (3)面談相手:校長、副校長、教頭、進路指導主事、進路担当教員、三学年主任、三学年担任教員等
 - (4)令和4年度実績:144校を訪問 187名の先生と面談(令和4年4月から令和5年3月まで)
 - (5)令和5年度実績:94校を訪問 124名の先生と面談(令和5年4月から令和5年8月31日現在)

令和5年度入試の状況

・募集定員70名 出願者数65名 受験者数65名 合格者数65名 合格後辞退者数6名 入学者数59名

実施回	試験日	市立高校 推薦	指定校 推薦	校長 推薦	学生 推薦	一般 (高校生等)	一般 (社会人)	出願者	欠席者	実受験者	合格者	不合格者	合格後 辞退者	入学 予定者
第1回	10月8日	4	6	24	2	11	1	48	0	48	48	0	3	45
第2回	10月22日	0	0	1	0	3	0	4	0	4	4	0	1	3
第3回	11月19日	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし	3	募集なし	3	0	3	3	0	0	3
第4回	12月10日	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし	2	募集なし	2	0	2	2	0	1	1
第5回	1月21日	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし	3	募集なし	3	0	3	3	0	0	3
第6回	2月18日	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし	4	募集なし	4	0	4	4	0	1	3
第7回	3月11日	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし	1	募集なし	1	0	1	1	0	0	1
		4	6	25	2	27	1	65	0	65	65	0	6	59

9月教育委員会会議自由討議

千原台の今と さらなる魅力化

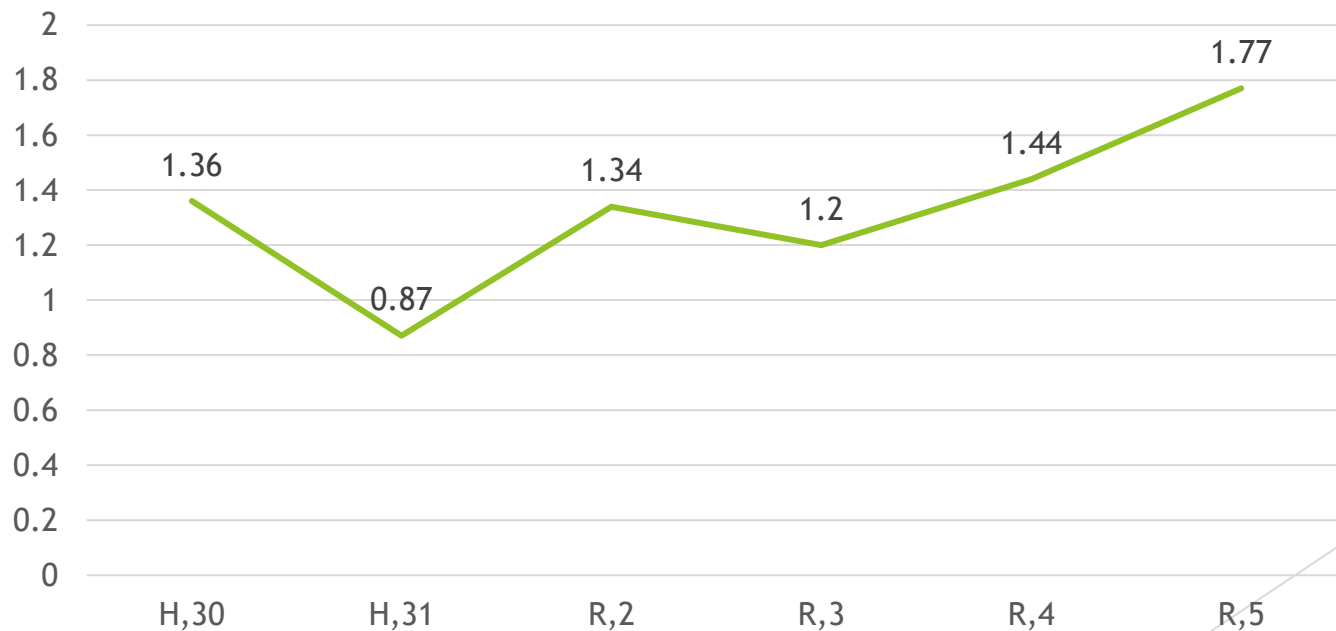
2023/9/28

熊本市立千原台高等学校

校長 南 弘一

高校専門学校改革を 踏まえた 今の取り組み状況

過去 6 年間の 後期（一般）選抜 倍率推移



令和5年度より学科改編

健康スポーツ探究科 情報ビジネス探究科



令和5年度入試

後期選抜の入試倍率1.75で県内トップ！

しかし

	前期選抜 募集人員	前期選抜 受験者数	前期倍率	後期選抜 募集人員	後期選抜 受験者数	後期倍率
令和5年度	100	190	1.90	60	105	1.75
令和4年度	100	215	2.15	100	144	1.44

前期選抜の受験者数は減っており、後期選抜は募集人員枠が40人減ったことで倍率が上がった可能性が高い

⇒ 「本校の人气が高まった」と判断するのは難しい！！

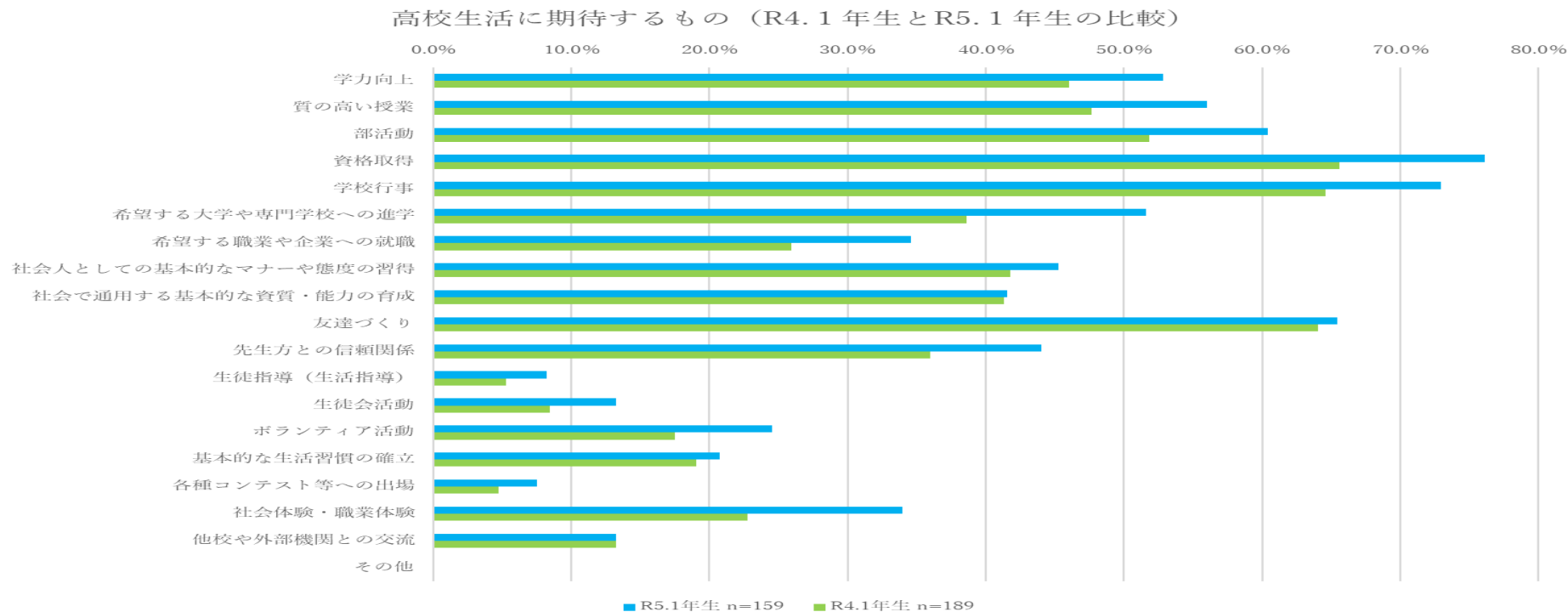
**本年度が学校の真価が
問われるとき！**

学校を魅力化する 5つの戦略

- ① 学力保障・授業力向上
- ② 広報活動の強化
- ③ 探究活動の充実・深化
- ④ PDCAのサイクルを基にした改善
- ⑤ 生徒が主体的に参画する学校づくりの推進

戦略① 学力保障・授業力向上

戦略① 学力保障・授業力向上



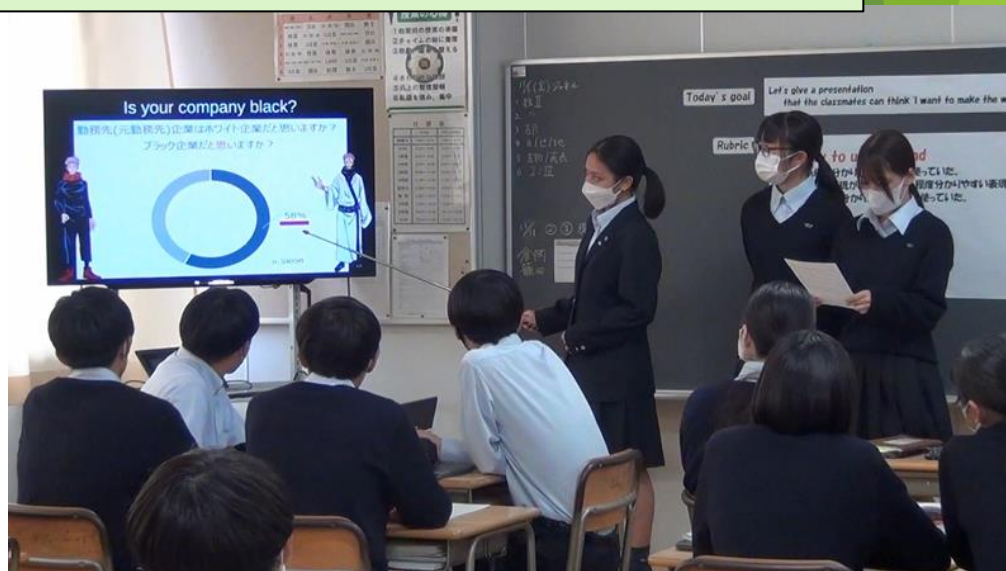
部活動、資格取得、学校行事に次いで、学力向上や質の高い授業へのニーズが高いことが判明

戦略① 学力保障・授業力向上

昨年度11月に職員全員参加型の研究授業・研究会を実施



2年3組財務会計の授業（立花先生）
【討議の柱】Chromebookの活用の仕方



3年2組コミ英Ⅲの授業（宮家先生）
【討議の柱】ルーブリック評価

教科の壁を越えて研修しあう雰囲気づくりの醸成へ

戦略① 学力保障・授業力向上



学校設定科目「スポーツ科学と健康」で南校長先生も自ら授業を公開

1学期研究授業旬間 授業参観者 延べ54名（昨年度比+26）

⇒ 学力保障・授業力向上で生徒の学校への満足度アップをねらいたい

戦略② 広報活動の強化

戦略② 学校広報の強化

SNS（X、旧Twitter）や学校HPの積極的活用

令和5年3月からX(旧Twitter)の投稿数 55
(令和4年投稿数は3)

令和5年4月から学校HPの更新数 29
(以前は月行事と入試関係のみの更新)



戦略② 広報活動の強化



【公式】熊本市立千原台高等学校 @chiharadaihs · 5月18日

昨年度の校則見直しで変わったこと。ロードバイク、クロスバイクでの通学がヘルメット着用を条件に認められました。#校則 #校則見直し #ヘルメット #ヘルメット着用 #ロードバイク #クロスバイク #交通安全 #命を守る #自転車通学 #自転車 #高校生 #青春 #アオハル #高校生の日常



1,205



左は2023年5月18日にアップした記事(左のVIEW数は6月18日10時現在のもの)。こちらの投稿記事は6日目で**1,000VIEW**をこえた



校則見直し関連のトピックに関心の高いことが判明

戦略③ 探究活動の充実・深化

戦略③ 探究活動の充実・深化

探究科誕生に合わせ

「総合的な探究の時間」は **1 単位から 2 単位**へ

実社会とのつながりを意識した
探究活動が展開可能に！

戦略③ 探究活動の充実・深化

【1年生】伝統工芸品の商品開発



学習成果発表会（商品アイデア審査会）は、肥後象嵌工芸士の稲田様、熊本県伝統工芸館の杉井様、みらいず設計Labの平松様の3人のゲスト審査員を迎えて行いました。26

戦略③ 探究活動の充実・深化

【2年生】教えて！先輩プロジェクト

郵便局



自動車
販売店



インタビュー活動を通して卒業生の姿が人生のロールモデルになることを期待！

戦略③ 探究活動の充実・深化

【3年生】情報科課題研究



ホテルと提携しサラマンダーズの試合会場で販売体験



熊本市の名所でのPR動画撮影・制作

年々探究活動のレベルが上がってきている！

（1, 2年での総探の取り組みや他学年を招いての課題研究成果発表会が良き影響を与えているのではないかと）

戦略③ 探究活動の充実・深化

【プロジェクト型探究】

- ・マイナビ提供ツール・ド・九州locus
- ・長期休業期間中インターンシップ

等

探究活動全体で外部人材の活用も積極的になってきている！

本年度は学校全体で述べ150名以上を目指したい

（1回限りではなく継続的な関わりを増やす）

ただし、千原台高校サポーターズクラブの運用も課題！

サポーターズクラブ第1弾企画として

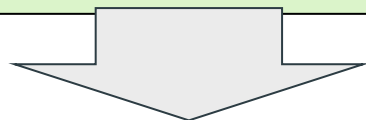
9月7日(木)「卒業生を囲む会」を実施

戦略④ PDCAのサイクルを 基にした改善

戦略④ PDCAのサイクルを基にした改善

昨年度の中学生体験入学で最も不評だったのが

全体会場（体育館）の暑さ



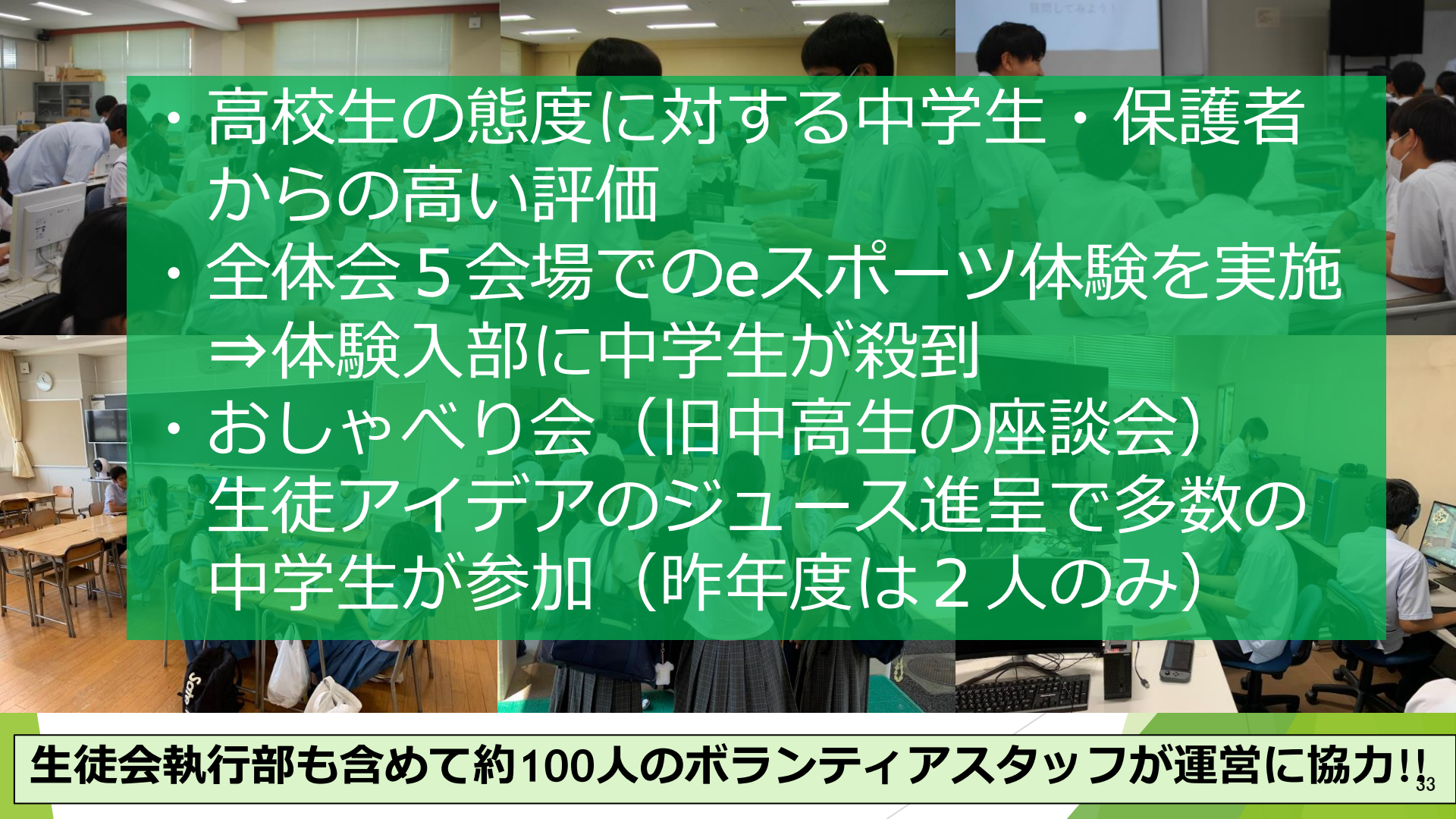
冷房のきいた 5 教室での実施



生徒会主体の運営へシフト



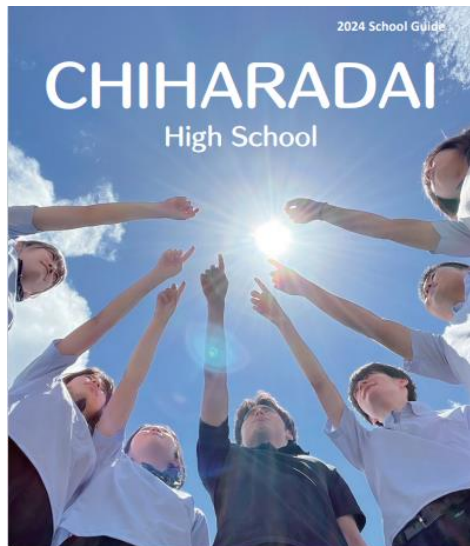
**生徒会執行部がスライドやムービーを作成し、
学校行事の紹介や魅力を自分たちの言葉でアピール**

- 
- The background of the slide is a collage of four photographs showing students in various school settings. Top-left: Students in a computer lab. Top-right: Students in a classroom with a projector screen. Bottom-left: Students in a classroom with wooden desks. Bottom-right: Students working at computers in a lab.
- ・ 高校生の態度に対する中学生・保護者からの高い評価
 - ・ 全体会5会場でのeスポーツ体験を実施
⇒体験入部に中学生が殺到
 - ・ おしゃべり会（旧中高生の座談会）
生徒アイデアのジューズ進呈で多数の
中学生が参加（昨年度は2人のみ）

生徒会執行部も含めて約100人のボランティアスタッフが運営に協力!!

戦略⑤ 生徒が主体的に 参画する学校づくりの推進

戦略⑤ 生徒が主体的に 参画する学校づくりの推進



熊本市立千原台高等学校

創立66周年
66th
Anniversary



作成メンバーの生徒たちと担当の先生のアイデアがたくさん詰まったパンフレットが今年度もできあがりしました

戦略⑤ 生徒が主体的に 参画する学校づくりの推進



生徒会が中心となり、校則見直しを毎年行っています。生徒同士や先生との対話を通して**納得解をつくっていく過程に大きな学びと成長があります**

戦略⑤ 生徒が主体的に 参画する学校づくりの推進



3校合同キックオフイベントの様子



8/6 第1回熊本市内高等学校生徒会意見交換会

生徒たちの活動を支援する法人をつくりたい！



(一社) ワンサウザン

- ・ セミナーの開催
- ・ スポーツ・文化イベント開催
- ・ グッズの販売
- ・ 寄付金の募集



(一社)ワンサウザン

地域貢献・
ビジネス



寄付・収益

教育活動への支援



収益の一部



地域社会

人材育成の場の提供
チャレンジを通して得た収益



本校のリソース(資源)を
活かした様々なチャレンジ



千原台高校

千原台高 部活動 ユニフォームキーホルダー



キーホルダー
定価 600円を
65周年同窓会
記念 特別価格
500円にて

寄付金
1口
1,000円より
こちらも
承ります！

**ご清聴
ありがとうございました**

新生 文・由館

出あう つながる ともに創る
～ 文・由館と 如月心を カタチに～

教育委員会会議 自由討議資料

新たな普通教育を主とする学科

⇒「新しい普通科」

「文理総合探究科」

これまでの「普通科の教科、科目」

+

学校独自の学校設定教科

「必 由 学」

「**プレゼン力**」もっと付けられたら、
教科の発表がより充実しそう！

班活動で、単なる意見の出し合い
ではなく、**協働的に学ぶ**班活動に
するためのノウハウを伝えられた
いいなあ。

習ったことを自分で思
考して、次の**課題に取
り組める**ようにりたい
なあ。

「既習事項」でも、数値が変
化したり、**表現方法が違っ
ただけ**で、「既習事項」の問題と
して捉えられていない…。

長い文章を読んだ後に設問を解く問題が増えている。
現代文より文章は短いけど、それさえも読めていない…。
問題の解釈を間違えていたり

各教科の学
びを支える
「**スキル**」
を身に付け
る教科を創
ろう

文章を読んで、その**趣旨を読み取る**問題
がなかなか解けない。
特に、**グラフの読み取り**では点数につな
がりにくい。

論理的思考力、因果関係が苦手
(順序立てて考える力)

高校生が身につけたい○○

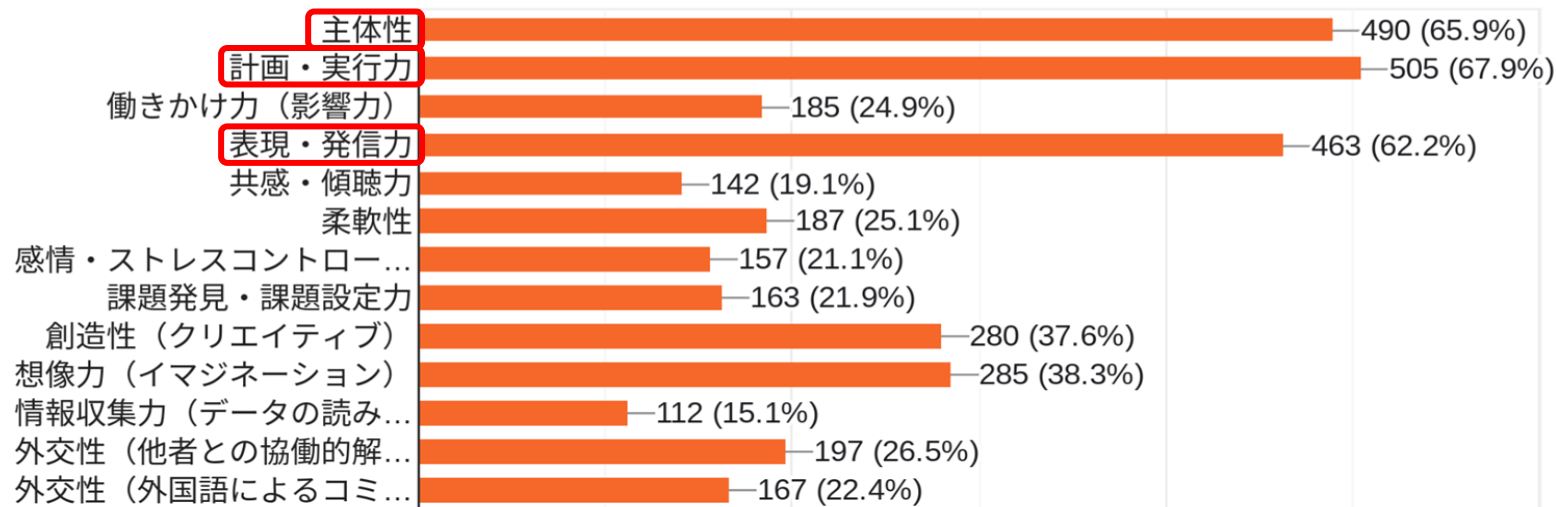
①「計画・実行力」

②「主体性」

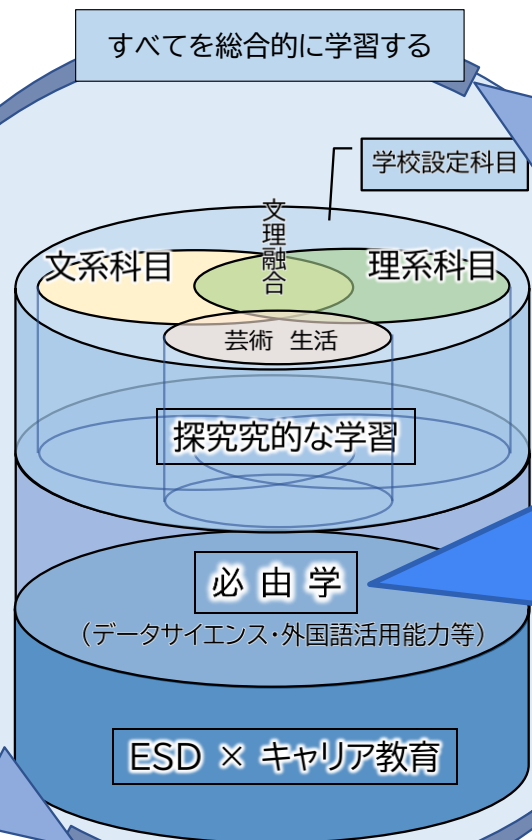
③「表現・発信力」

6. あなたが、高校卒業までに身につけたいと思うものを5つ選択してください。

744 件の回答



「文理総合探究科」での学び



「必由学」では

- ・教育活動すべてを支えるスキル
- ・新しい時代に求められる力を身につけていきます。

「必由学基礎」

1・2年次 全員履修 各1単位

「必由学応用」

3年次 選択履修 2・4単位

必由学 4つの柱

① データサイエンス（統計）

② 多文化理解（外国語コミュニケーション）

③ リーダーシップ

④ プレゼンテーション

充実した職員研修

▶ 月 1 回程度実施

▶ 教職員の指導力向上・意識改革を目指す

【「必由学」 4 つの柱を軸にした職員研修】

① データサイエンス（統計）

- ・熊本県立大学 飯村教授
- ・九州経済産業局RESAS講座

② 多文化理解（外国語コミュニケーション）

- ・ J I C A 九州
- ・台湾留学サポートセンター
- ・外務省講座 ・国連講座

③ リーダーシップ

- ・早稲田大学リーダーシップ研修

④ プレゼンテーション

- ・ペチャクチャナイト熊本 中山様

充実した職員研修

【その他の職員研修】

⑤指導力向上

- ・熊本大学 前田特任教授 「授業改善と実践」
- ・宇土高校 梶尾指導教諭 後藤指導教諭
「コンピテンシー評価分析ツールの活用」

⑥普通科改革

- ・福岡教育大学教授 石丸哲史氏 「必由館高等学校改革に向けたESDの役割」
- ・文部科学省調査官 長田 徹氏 「キャリア教育の一層の充実に向けて」
- ・東京大学教授 鈴木 寛氏 「新生必由館高等学校に期待する教育の未来」
- ・東京藝術大学教授 佐野 靖氏 「これからの芸術教育」

他多数

「必由学」を必由館高校ならではの学びにするために

【経産省 人生100年時代の社会人基礎力】

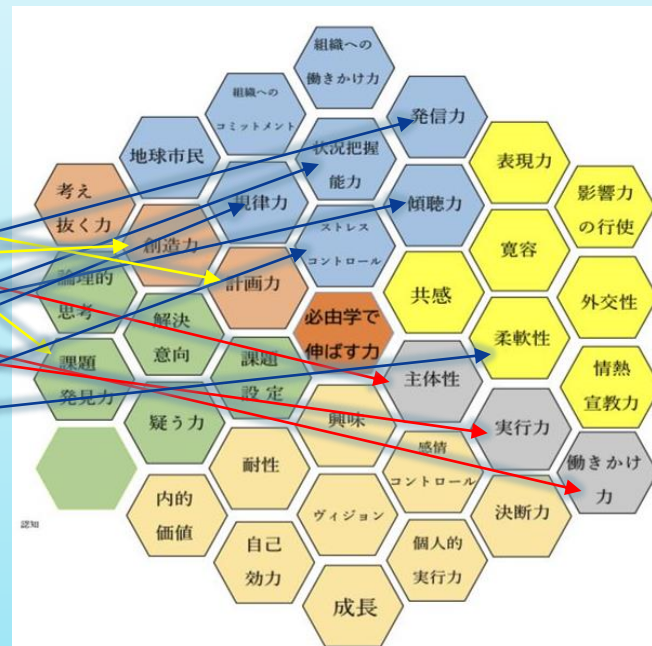
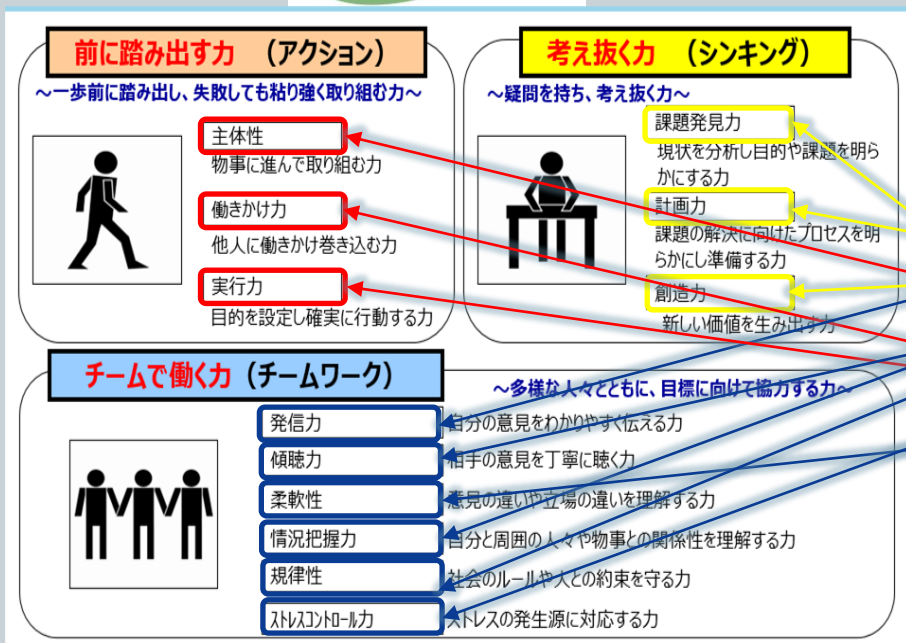


参考

【必由学】

日々の学習活動の中で、
どのような力が身に付けられるのかを可視化

⇒生徒自身が実感しながら学んでいく



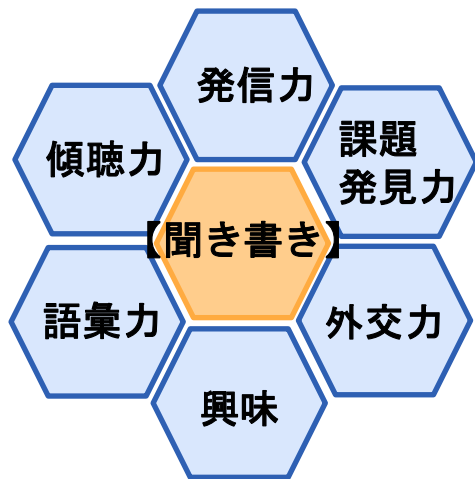
例えば・・・

【聞き書き】

知恵や技術、人生そのものを「聞き書き」し、記録する

- ①身近な人
- ②職業（または市役所の取組など）
- ③国際、多文化共生（ALTなど）

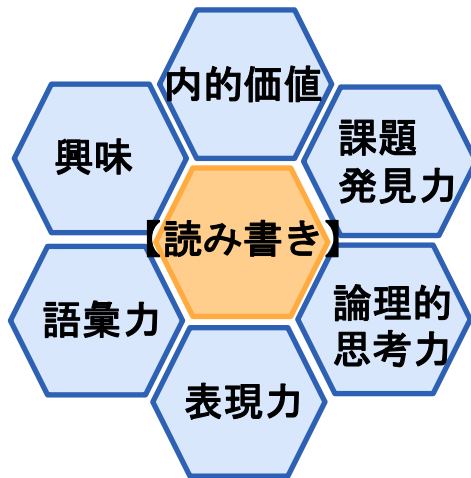
《身につけたい力》



【読み書き】

- ・文章を読む力
- ・語彙力ノートやアプリの活用
- ・データを読む
- ・提示されたことに対して考えをもつ
- ・英語を読む

《身につけたい力》



「必由学」を活かした必由館ならではの学び

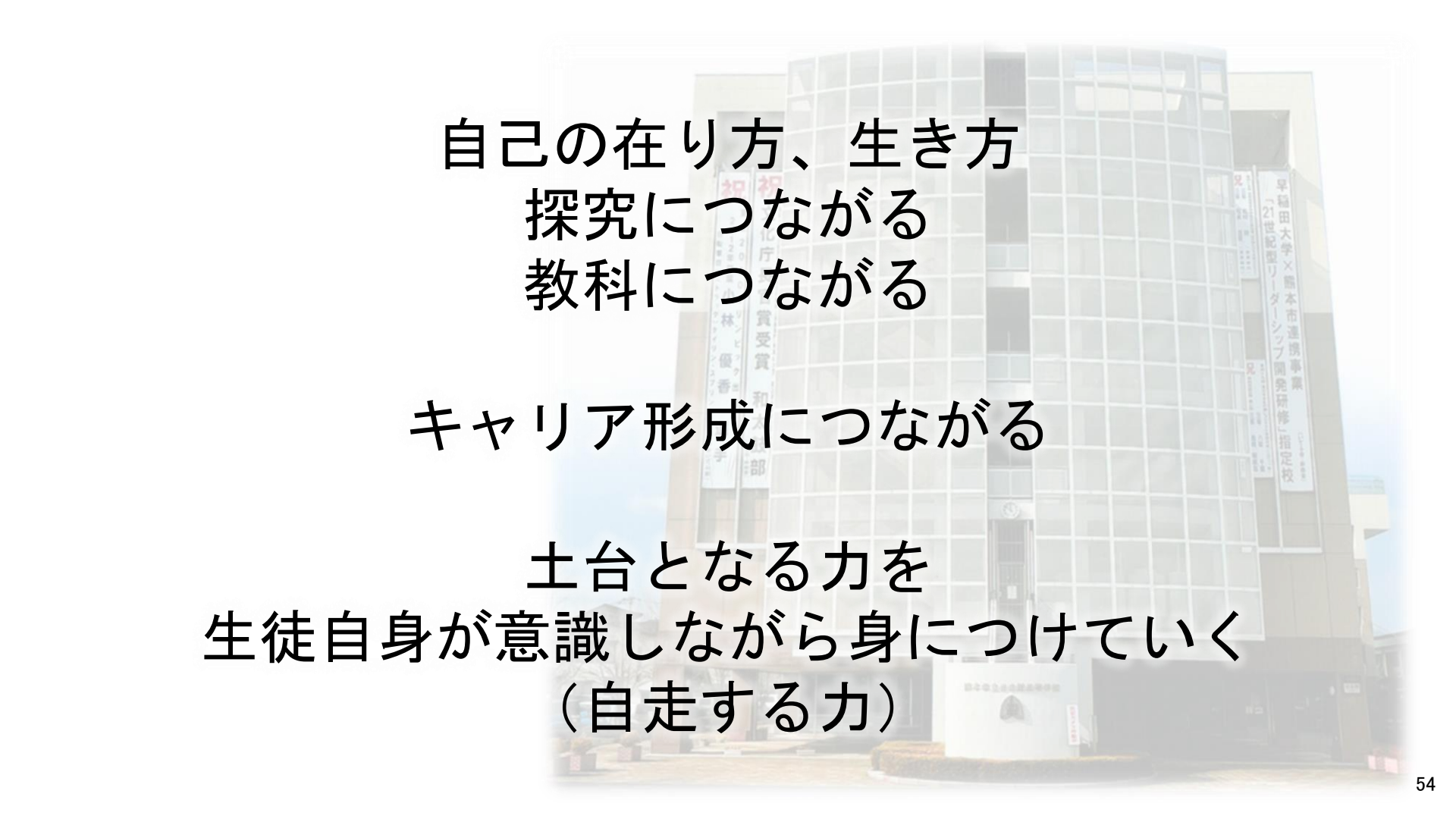
- ◇**熊本市立高校の強み！「HYKプロジェクト」**
総合的な探究の時間における
熊本市役所や企業との連携による実践的探究活動



- ◇現 国際コースにおける**国際交流事業**は
全コースでの取り組みとして発展的に継続

- 〔例〕
- ・熊本市・ハイデルベルグ市青少年交流事業
 - ・熊本市姉妹都市エクサンプロヴァンス市訪問団とのアート交流
 - ・熊本市ALT・CIRとの連携による国際理解学習
 - ・熊本市・サンアントニオ市交換留学生制度
 - ・夏季海外語学研修 など





自己の在り方、生き方
探究につながる
教科につながる

キャリア形成につながる

土台となる力を
生徒自身が意識しながら身につけていく
(自走する力)

Hitsuyukan

Kumamoto Municipal Senior High School

出あう つながる ともに創る
～ 必由館く やりたいをカタチに～

令和6年度より **新しい普通科** **文理総合探究科**へ

文理コース

芸術コース

生活デザインコース

熊本市立必由館高等学校

7月教育委員会議で要望した内容について

確認：必由館高校改革の大きな流れ

新たな普通教育を主とする学科「文理総合探究科」の設置

- ▶ 学校設定教科・科目を設け、
全員2単位以上履修
- ◆ 学校設定教科「**必由学**」の開設
「必由学基礎」
1・2年次全員履修 各1単位
「必由学応用」
3年次選択履修 2・4単位

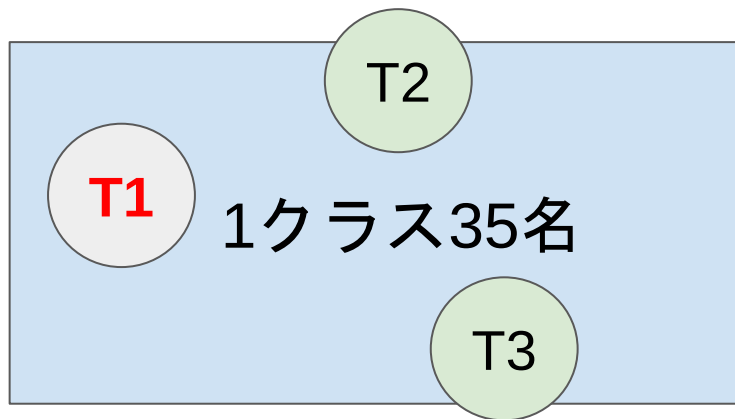
- ▶ 地域の行政機関等との連携協力体制を整備
- ◆ **市役所全面支援**による実践的な探究活動（総合的な探究の時間）
- ◆ 熊本市（県）主催の**国際交流事業**
- ◆ **コーディネーター**の設置

要望：マンパワー(教職員の指導力向上と増員)が不可欠

学校設定教科「必由学」実施方法（検討中）

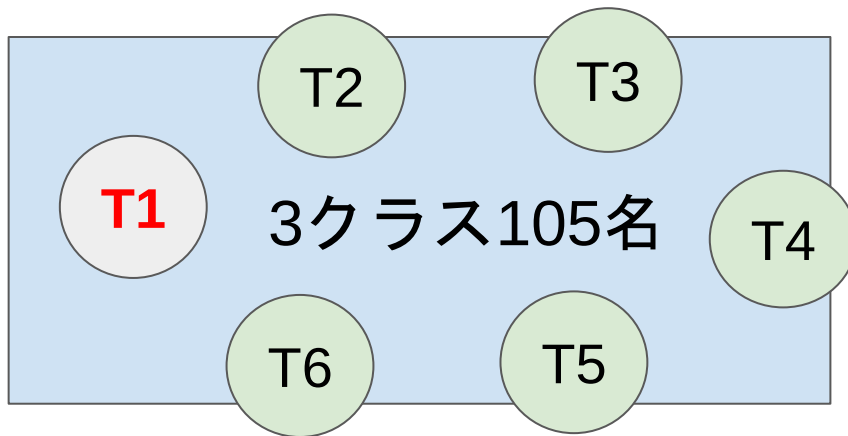
【実施方法 例１】

- ◆対象生徒 1クラス 35名
- ◆3名でチームティーチング
- ◆T1を3名で回していく



【実施方法 例２】

- ◆対象生徒 3クラス 105名
- ◆4～6名でチームティーチング
- ◆T1を4～6名で回していく



外部人材の活用を検討

⇒総合ビジネス専門学校の非常勤講師等

「必由学」開設、「総合的な探究の時間」の研究等に伴う授業時間数等への影響について

▶ 「必由学」の開設

- ◆ 「必由学基礎」 1・2年次全員履修 各 1 単位
- ◆ 「必由学応用」 3年次選択履修 2・4 単位

▶ 「総合的な探究の時間」の研究

- ◆ 3年間を通した探究活動（HYKプロジェクト）
- ◆ 市役所や企業と連携した実践的な探究活動
- ◆ 国際交流事業やコース毎の探究活動
- ◆ 外部団体とのコーディネート業務の時間増

▶ 「必由学」「総探」研究のためのプロジェクトチームの設置

- ◆ プロジェクト会議のための時間の確保
- ◆ シラバス作成

「必由学」開設、「総合的な探究の時間」の研究等に伴う授業時間数等への影響について

- 【実践例1】の場合
- ◆対象生徒 1クラス 35名
 - ◆3名（チームティーチング）
 - ◆T 1 を3名で回していく



	令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
「必由学」設置に伴う 授業時間数の増加	27時間	27時間	18時間	72時間
「必由学」設置に伴う 増員（マンパワー）	2名	2名	1名	5名
「総探」の研究等に伴う増員（マンパワー） 文理・生活・芸術各系に1 名ずつ5人のチーフ	5名			5名
増員（マンパワー）計	7名	2名	1名	10名

京都市の例

▶京都市教育委員会の高校改革の流れ

- ◆ 1999年設置 堀川高校 探究学科
(堀川の軌跡)
- ◆ 今年度開校 開建高校 ルミノベーション科
(新たな普通教育を主とする学科)

▶京都市立高等学校の職員配置

- ◆市立高校12校すべてにおいて**教職員を加配**
- ◆総合的な探究の時間や学校設定教科のために
マンパワーを確保

広報活動について

▶ HP上の活用

◆学校紹介リーフレット

◆YouTubeチャンネル

学校説明会で使用した資料や
学校行事等を紹介

◆必由館X（旧Twitter）

学校行事や部活動報告等

▶ 雑誌やTV・ラジオ等

◆熊日進学ナビ掲載（見開き2P）

◆おはよう熊本市

FM791 11月8日（水）

◆こんばんは熊本市

RKKテレビ 11月16日（木）

◆With You（12月号）

▶ 学校説明会

◆ 日 時 令和5年8月4日（金）

◆ 参加者 中学3年生

（アンケート回答数）

熊本市内	759名
熊本市外	254名
計	1013名

◆ アンケート結果抜粋

『Q.参加を決めたきっかけは？』

①受験を考えている	693名
②新しい学科に興味	402名
③家族の勧め	261名

『Q.全体説明はどうでしたか？』

①とても良かった	823名
②まあまあ良かった	177名

▶ 芸術コース体験入学

◆ 日 時 令和5年9月30日（土）

◆ 参加者 中学3年生

▶ 必由館高校文化祭招待

◆ 日 時 令和5年10月4日（水）

◆ 場 所 熊本県立劇場

◆ 参加者 中学1・2年生 生徒会
生徒会顧問

▶ 中学校説明会への参加

◆ 熊本市内22校 市外4校（9/8現在）

▶ 中学校訪問

◆ 熊本市内10校 市外4校（9/8現在）